

オリンピック・パラリンピック教育で5つの資質を育む

東京都では平成26年からモデル推進校において五輪教育に取り組んできましたが、この取組を拡大して、年間35時間程度を目標に組織的・計画的に取組。国語、社会、家庭、保健体育、図画工作、音楽、美術、特別活動、総合的な学習の時間を中心とした全教育活動で展開していく考え方で、ボランティアマインドの醸成や障害者理解を促進し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。

東京五輪教育が平成28年度から東京都内の全ての小・中・高等学校で行われる。東京都教育委員会は12月、東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議(真田久座長・筑波大学)の最終提言(以下、最終提言)を公表し、都内全校において多彩な五輪教育を継続的に行うとした。4月より都内すべての学校で教育を開始または本格始動に向けた準備を進め、平成28年開催のリオデジタル大会が終了する9月から本格的に開催する考えだ。

都内全校で東京五輪教育

「おもてなしの心」を育む
五輪教育推進校八王子市立横山第一小学校

目標人間像

「オリンピック・パラリンピック教育が自らの目標像」は以下の通り。(1)自らの目標を持って自己肯定し、自らのベストを目指す意欲・態度を備えた人 (2)スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人 (3)日本人としての自覚と誇りを持った人

重点的に育成すべき5つの資質

ボランティアマインド 発達段階に応じてボランティアに関する取組を継続的・計画的に行い、社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育み、子供たちの自尊心を高める。障害のある児童・生徒が社会貢献やボランティアに参加できる仕組みを構築する。

障害者理解 障害の有無に関わらず、ともに力を合わせ生活できる共生社会の実現のため、障害者理解の学習・体験や障害者との交流を通じて多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを浸透。

スポーツ志向 多様なスポーツへの興味・関心を高め、体験することを通じてフェアプレーやチームワークの精神を育み、心身ともに健全な人に育てる。

日本人としての自覚と誇り 日本の伝統や最新の文化を学び、世界に発信する力を育てるとともに、日本人の規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、日本人としての自覚と誇りを身に付ける。

豊かな国際感覚 世界の多様な国々の歴史や文化を学ぶ。留学生や外国人、海外の学校等との交流を促進し、豊かな国際感覚を養う。

ち、自ら学び行動できる国際感覚を備えた人 (4)これら達成のため、多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人 (5)学年によっては、これらの達成のため、多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人

全教育活動で年間35時間

最終提言 東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

■スマイルプロジェクト 活動等
■障害者スポーツの観戦 等を通じた特別支援学校
■体験等の機会の拡充を 地域の学校との交流
■夢・未来プロジェクト 地域行事
■スポーツ大会 地域防災
■世界ともどもフロジェクト 地域交流等、実際の国際交流活動を実施
■スポーツの素晴らしさを 体感し、国際理解や障害者理解を促進。

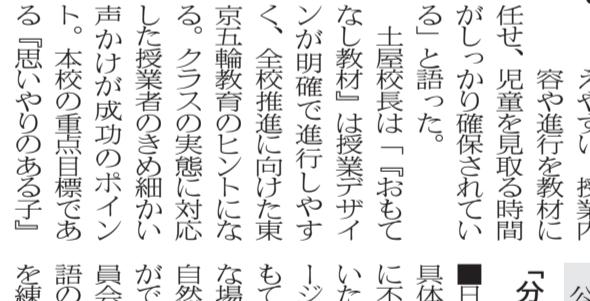


おもてなしのプロ・江上さんがキャラクターとして登場。おもてなしの心を伝える「おもてなしの心」を伝えます。授業者は上田隆司教諭。授業者は、6年生を対象に従事する授業のキャラクターです。



「同時礼」「分離礼」を練習する。江上先生の「握手をする」という行動が見えて、児童が実際に英語で表現されています。

「おもてなしの心」を育む協働学習教材



江さん(写真左)から「おもてなし大使」のメダルを授与する。江さんは、江上先生が実現する目標を決めるところまで、これまでの活動は「これ

が問題だ。一毛筆で漢字を使ってその名前を書く」というアイデアで相手の笑顔を引き出すこと

が問題だ。江上先生が実現する目標を決めるところまで、これまでの活動は「これ

が